



# 照明探偵団通信

vol. 42 Shomei Tanteidan Tsu-shin

## こどもワークショップ 「あかりと闇の体験」

2010.11.16 東悟子 + 中山レイチェル

11月16日、照明探偵団、初の本格的こどもワークショップ。  
横浜市立北山田小学校3年生82名を対象に『あかりと闇の  
体験』をテーマに、団長の面出があかりについて語りました。

### ■“あかりと闇の大切さを伝えたい”

探偵団では以前から、こども達にもあかりと闇の大切さを伝えたいという夢を描いていたのですが、ついにその企画が実現。

日ごろ完全な闇を体験することないこども達とともに闇を感じ、その闇の後に、ろうそく一本のわずかなあかりがどれだけあかるいかを体験するワークショップを行いました。闇の中で神経を研ぎ澄ませるこども達、そのあとのろうそくのあかりに集まったこども達の真剣で新鮮な反応に、このワークショップの重要性と可能性を確信しました。ろうそく一本が、隣の人の距離を近くし、みんなで同じ体験をしている、時間を共有しているというクラスの一体感を生み出したと思います。

蛍光灯、白熱灯、ハロゲンランプ、LEDなどいろいろな光源が私たちの身の回りにあり、それぞれ違う特徴をもっていることを紹介しました。 (東 悟子)

### ■面出団長 x 小学校三年生

気持ちいい秋晴れの中、真っ暗に遮光されている部屋で、こどもワークショップ「あかりと闇の体験」を行いました。好奇心旺盛な小学生ということもあり、話がどんどんはずみ、あっという間の45分間でした。

まずは面出団長がこども達に「天気の日が好きな子、手あげて！」や「暗い所が好きな子、手あげて！」と質問。遠慮なくまっすぐに手を挙げてくれたこども達と面出団長とのQ&Aを楽しみました。次に人類が一番初めに使っていた火や焚火の様子が描かれたパネルを見せたり、各種光源が開発される様子が描かれたパネルも紹介しました。この図とともにいくつかの本物のランプも見せ、点灯しました。毎日見るコンパクト蛍光灯やシリカランプ、色が変わるLEDパネルや小さなハロゲンランプに、こども達は驚いていました。

その後電気を消し、部屋が真っ暗になりました。最初は少し叫び声が聞こえていましたが、だんだんと目が慣れてきて、ぼんやりともものアウトラインが見えてきました。じっくりと静かに闇を体験する中、面出団長が壁面にレーザービームを光らせました。闇の中で光る緑のビームに「ワーっ！」と喜ぶこども達。次にろうそく一本に火をつけ、それを五本に増やし、その違いを体感。こども達は炎の揺らぎやその影を



面出団長：「暗いところが好きな子、手あげて！」



白熱電球、コンパクト蛍光灯、ハロゲンランプ、LEDなど、様々な光源を見て、比較しました。



面出団長を囲み、真剣な顔で話を聞いて、Q&Aを楽しみました。

じっと見つめていました。ろうそくの光以外は何もない中、こども達は五感を使って周りの様子を観察していました。

最後にリサイクル行灯の作成。こども達が500mlのペットボトルに好みの柄をデザイン。その間、大人がペットボトルの蓋にボタン電池とLEDを接着しました。こども達は本物のLEDを手にとってみたり、簡単に電池と接することで点灯する事実に驚いていました。最後にひもをつけて、首からぶら下げて完成。45分の短い間にあかりと闇の体験そして、行灯作りまで面出団長、団員、こども達みんなで楽しく学ぶことができました。

(中山 レイチェル)

#### ■生活を豊かにする光

スイッチをおすと、照明がつくという日ごろ当たり前のように行っている行動も、視線をかえて“照らす”工夫をすれば、生活がもっともっと豊かになるということをかんじてくれたのではないかと思います。団長の話を真剣に聞くこどもの姿をみて、ランプが違えば、見え方も、印象も違うという比較の実験をもっとじっくりやって、語ったり、質問に答えたりする時間を多くとればよかったです。闇が作り出す創造性や、ひとつのあかりがもたらす親近感から何かを学んでくれているのなら、このワークショップは大成功だったのではないのでしょうか。こども達の豊かな感性に感動し、たくさんのことを私達も学ぶことができました。今後この活動を続けたいと強く思いました。

(東 悟子)

#### ■こども達はいつか思い出してくれるかなあ。。。

45分間という時間は、面出団長がこどもワークショップのために用意した内容、伝えたかったこと、理解して欲しかったことにはちょっと短かったかもしれませんが、でも一番大切にシンプルなメッセージ『あかりに対しての面出団長の情熱』は十分伝わったと思います。全体の話は難しくはなかったのですが、講義の内容より、伝えたかったのは、面出団長の目のきらめきです。このような情熱は教科書やインターネットなどでは見つからないものだと思います。これは人と人とのふれあいや対話で体が覚えるものです。この講義の内容をこども達は「変な電球」とか「暗い所が好きな面白いおじいさん」としか覚えていないかもしれませんが、いつか「誕生日ケーキのろうそくに素直に喜ぶ」、「コンビニの光はこれでいいのか?」、「自然の現象である夕焼けに気づく」など、光のことを意識するようになってくれればと思います。理科の授業でしたが、それ以上に学んだこども達だと思います。

(中山 レイチェル)



上: 真っ暗の部屋を体験した後にろうそく一本そして、五本に増やし、こんなに明るいんだとびっくりするこども達。

左: 安らぎを感じて、静かにろうそくのあかりをじっと見つめるこども達。



左上: いろはすのペットボトルでLED行灯づくり。まずは油性ペンで自由に描くこと!

右上: 小さなLEDに興味深々なこども達。青くひかると「僕のもやって〜!」と騒ぎました。

左下: 暗闇で青くキラキラ光るランタンにこども達も大喜び。

# 世界照明探偵団コアメンバーミーティング in Lucerne, Switzerland

2010.11.2-5

村岡桃子 + 東悟子

10年目を迎えた世界照明探偵団は、フォーラムをお休みし、原点にもどって、コンセプトを再検討。今後の有り方、方向性、フォーラムのフォーマットなどを話し合うコアメンバーミーティングを古い町並みが残る湖の街、スイス、ルツェルンにて開催しました。  
コアメンバーミーティング：参加人数8名 Aleksandra Stratimirovic, Frederico Favero (Stockholm), Christof Fielstette, Ulrike Brandt (Hamburg), Lisbeth Skindbjerg Kristensen (Copenhagen), Kaoru Mende, Momoko Muracka, Noriko Higashi (Tokyo)

## ■ Who are we? Why do we meet?

最初に話し合われたのが、世界照明探偵団とはなんなのか。なぜ集まるのかということ。さまざまな国からさまざまなバックグラウンドをもったメンバーが集まるだけに、共通のコンセンサスを持つのは重要なことです。『あかりの体験を共有したい』ということはみんな同意見なのですが、何が一番大切かということでは議論が弾みました。

## ■ビジョン、ミッション、目標

今後の活動の指針を話し合いました。TNTのビジョンとは、地元の照明文化から学び、気づいたことを共有するオープンプラットフォームを創造することであり、ミッションは異文化の照明アイデンティティを学び、尊重し、楽しむこと、そして目標は、照明の未来について、語り、考えることと結論付けました。

## ■ピラトゥス山ヘディトリップ

『照明デザインは自然光に学べ』とのフィロソフィーに従い、標高2132Mピラトゥス山へ登頂。頂上まで30度はあろうかという急斜面をケーブルカーで登りました。この地方で11月にはめずらしい快晴でした。日の光と、雪の反射光でまぶしい中、はるか下方に広がる湖や町並み、山々の雄大な景色を堪能しました。

## ■HPリニューアル

来年度からHPも刷新する予定で、その企画案を発表しました。日本から持参したデザイン案と内容を説明しました。いままで撮りためてきた写真をきれいに見せることと、各支部のHPをなくし、今後は新しいTNTのHPで各支部のニュースなどの内容を更新していくことで合意しました。

## ■感想

3泊4日(正味2日間)という限られた時間の中でしたが、充実したディスカッションができ、メンバーの中にはこの会議を定例化させたほうが良いとの意見も上がりました。メンバーの照明に対する意識の高さに感銘を受けました。今後の充実した探偵団の活動の為、ここで話し合われたことを形にし、実現させていくことが重要だと感じました。(東 悟子)



上:ビルの屋上カフェテリアで。TNTのビジョンとは何かで議論を繰り広げるコアメンバー。

左中:夜のルツェルン散策。水面にうつる街の明かりが夜を引き立てています。

右:1333年に造られたヨーロッパでもっとも古い屋根付き木造橋カペル橋の上からみんなで撮影合戦。

左下:ピラトゥス山頂まで上るケーブルカーでお出かけ。快晴の中、下界を眺める面出団長とメンバー。



スイス料理のお店で Farewell Party

■事務局からのお知らせ

新年あけましておめでとうございます。

照明探偵団も今年で21年目を迎えました。

今までの活動を耕しながら、新しい事へもどんどん挑戦していきたいと思っております。

皆様のご参加、心よりお待ちしております。

(東 悟子)

【照明探偵団の活動は以下の19社にご協賛頂いております。】

ルートロンアスカ株式会社

岩崎電気株式会社

カラーキネティクス・ジャパン株式会社

パナソニック電工株式会社

ヤマギワ株式会社

マックスレイ株式会社

DNライティング株式会社

エルコライティング株式会社

株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン

東芝ライテック株式会社

コイズミ照明株式会社

マーチンプロフェッショナルジャパン株式会社

タルジェットイ ポールセン ジャパン株式会社

株式会社遠藤照明

湘南工作販売株式会社

トキ・コーポレーション株式会社

山田照明株式会社

株式会社ウシオスペックス

森山産業株式会社



探偵団通信に関してのご意見・ご感想等随時受付中です！  
お気軽に事務局までご連絡ください。